

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	青少年健全育成非行防止活動の推進		担当部局庁	スポーツ・青少年局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成2年度～平成22年度		担当課室	参事官(青少年健全育成担当)		参事官 (青少年健全育成担当) 勝山 浩司		
会計区分	一般会計		施策名	Ⅱ-3. 青少年の健全育成				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—		関係する計画、通知等	青少年育成施策大綱(平成20年12月青少年育成推進本部決定)、子ども・若者ビジョン(平成22年7月23日子ども・若者育成支援推進本部決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	近年、青少年による殺人や傷害事件などの凶悪犯罪が顕在化する一方、インターネットなどの情報通信機器を使用した、いじめや詐欺など潜在化された行為の存在も指摘されている。 このため、青少年の健全育成に携わる者等に対して、青少年問題の最新情報の提供と問題意識の共有を図り、青少年育成指導者の養成や資質の向上を図ることを目的としている。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	大学等で青少年問題を専門とする研究者による講義に加え、海外から講師を招へいしての諸外国における取り組み事例の紹介や、先進事例の紹介などを内容とした青少年指導者養成国際研修を開催する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	12.1	11.4	9.1	0		
		補正予算	0	0	0			
		繰越し等	0	0	0			
		計	12.1	11.4	9.1	0		
	執行額	6.8	6.7	2				
	執行率(%)	56.2%	58.8%	22.0%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (-年度)
	・本事業の目標は、青少年の健全育成に携わる者等に対して、青少年問題の最新情報の提供と問題意識の共有、青少年の健全育成指導者の質の向上であり、数量化することは困難である。		成果実績	人		-	-	-
			達成度	%		-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	青少年育成指導者養成研修大会の開催回数		活動実績 (当初見込み)	回		5	1	-
						5	(5)	(-)
単位当たりコスト	1,970,985(円/地域)		算出根拠	青少年育成指導者養成研修大会を1地域開催するのにかかるコスト(平成22年度) X/Y=1,970,985(円/地域) X:1,970,985円(当該事業執行額) Y:1地域(地域数)				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・事業開始から本年度で20年を超過し、本事業の当初の目的は達成されたと考えられる。</p> <p>・本事業の執行額が低調となっている要因は、青少年育成指導者養成研修大会の開催回数が当初予定回数を下回ったため、不用が発生したことによるものである。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
		<p>本事業の当初の目的は達成されたと判断し、平成22年度をもって廃止している。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>※平成22年度で事業終了</p>			

A. 文部科学省 青少年育成指導者養成研修の開催
2百万円

庁費	0.8百万円
諸謝金	0.6百万円
職員旅費	0.4百万円
その他	0.2百万円
(委員等旅費、外国人招へい旅費)	

} を含む

研修の開催にかかる指導助言を行う。青少年の健全育成に携わる者等に対して、青少年問題の最新情報の提供と問題意識の共有を図り、青少年育成指導者の養成や資質の向上を図ることを目的に研修会を実施。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A. 文部科学省			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
庁費	研修会運営支援業務	0.8			
諸謝金	パネリスト講演、実技・指導等謝金	0.6			
職員旅費	研修大会事前打ち合わせ	0.4			
その他	委員等旅費(委員出席旅費)、外国人 招へい旅費(外国人講師の招へい)	0.2			
計		2	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)